

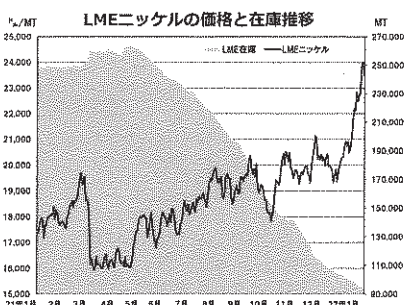
関西  
ステンレス

# 先高気配保ち、一部で織り込む動き

(大阪) 関西地区のステンレススクラップ相場は強含み横ばい。今月は内外需要の一眼感とミル各社の高値敬遠姿勢で指標高が反映されずに月末を迎えた。ただ、スクラップの採算値は上昇余地が一段と広がっており、月替わりに向けては先高観が実体化しそうな地合い。市中でも前週から先高を織り込んだ動きが顕在化しつつあり、「市中主導」でジリ高歩調を強める格好にある。

韓国向け輸出大手のSUS304新切れの実勢価格に上値の更新は聞かれないものの、下値は着実に切り上がっており、相対取引による足元の中心値は $\approx$ 240円前後とされる。韓国大手ミルの需要鈍化と高値敬遠姿勢で輸出大手の買値には上値の重さが拭えないままだが、販路拡大と先行きの在庫は一定量を確保する必要があるため、ある納入筋は「難しい舵取りを迫られているはずだ」と指摘する。目先は2~3月に炉のメンテナンス工事で韓国大手ミルの減産計画も取り沙汰されておられ、指標高が2月の購入価格にどの程度反映されるのかどうか先行きの判断材料となりそうだ。

一方、国内ミル各社の購入価格は、バラつきはあるものの235円前後で推移。海外需要の



鈍化傾向と、それに伴う荷動きの安定感で足元は原料在庫の不足感が後退。スポットでの引き合いも見受けられない。ただ、市中の荷動きは先高観が根強いいため停滞感を強めており、先行きは季節要因も重なり先細る可能性が高い。ある商社筋は「ミル各社も月替わりに向け、一定の価格対応を求められるはずだ」と語る。

専業・兼業問屋筋の仕切り値は多様な価格帯が散見されたままだが、足元の実勢値は200~210円見当。市中では慎重な構えを取りつつも、市況の上昇を先取りする形で集荷にあたる向きも散見される。ある問屋筋は「ニッケルの上げ幅に準じたスクラップの値上げは見込めないが、目先5~10円がた上昇しても不思議ではない。早めに付けて集荷にあたる方が得策だ」と語る。

LMEニッケル・ステンレススクラップ相場推移

	LMEニッケル相場 (月平均) \$/MT	LME Ni在庫 (期末/t)	ASIA・SABOT \$/MT	フェロクロム相場 高炭素品・\$/LB	為替相場 (TTS)
2019年平均・合計	13,898	150,690	1,268	117.50	110.08
2020年平均・合計	13,773	246,708	1,198	118.75	107.82
2021年平均・合計	18,478	101,886	1,659	160.38	110.80
2021年6月	17,943	232,476	1,620	164.00	111.13
7月	18,817	214,632	1,660	164.00	111.31
8月	19,143	195,252	1,710	164.00	110.85
9月	19,398	157,062	1,780	164.00	111.17
10月	19,420	143,022	1,810	188.00	114.11
11月	19,964	114,360	1,880	188.00	115.14
12月	20,070	101,886	1,900	188.00	114.88
2022年1月	22,143	93,102	2,020	188.00	115.91

※1月は24日までの平均値

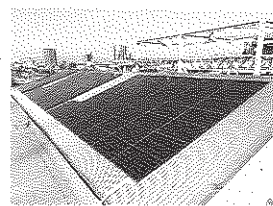
## 富士興産、大正工場・倉庫を大幅リニューアル 太陽光パネル設置

(大阪) レアメタルリサイクル事業を展開する富士興産(本社=大阪市浪速区、赤嶺和俊社長)は1月16日、大正工場・倉庫(大阪市大正区)の大幅リニューアル工事が完了した。

大正工場・倉庫はスクラップの選別作業や検収・加工を行っており、分析装置、放射能測定器などを完備し、高品質の原料を生産する同社の中枢拠点だ。

今回のリニューアルは職場環境の改善や環境保全の観点から実施しており、主な特徴が5点となる。1点目は夏場の猛暑や熱中症対策として屋根を断熱材ルーフに全面に葺き替えて、屋上換気扇を3台設置。2点目は外観を全面舗装し直して景観に配慮。また2年前より一新した会社ロゴで大きな看板を取り付けた。3点目は入口の上部開口部を拡張、重量シャッターを新しくし、さらに起動センサーで人・車両を自動検知して開閉するシート製の大型高速シャッターも設

置。4点目は環境対策の一環として全照明器具をLEDへ更新。照度が高くなったことで、作業効率や安全性が向上した。5点目はカーボンフリー社会の実現に向けて、再生可能エネルギーを導入するため太陽



屋根に太陽光パネルを設置

光パネル147枚を設置。推定49,399kwが年間で発電することができ、大正工場・倉庫の消費電力を補っていく。

赤嶺社長は「今年の夏までに倉庫内へ大型空調設備を導入する。中の冷・暖気を逃げないようにする高速シャッターはその前工事。働きやすい職場環境を整えながら、社員一丸となってリサイクル事業に務めていく」と話す。これからのについては「今年は働き方改革の推進、SDGs経営の取り組み、健康経営優良法人の認定取得、以上3点の方針を掲げている。ソフト面の強化を図り、全ての社員への配慮を欠かさず、社会へ対外的にアピールできる企業を目指す」と(赤嶺社長)と意気込みを語った。



大正工場・倉庫